

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	✕
	特別選抜	✕

科目	共通問題
対象	家庭科教育サブプログラム

受験番号					

問. 家庭科の授業を系統的な学びとするためには、どのような工夫が求められると考えるか。あなたがこれまで取り組んだ授業を例にあげて述べよ。なお、解答欄が不足する場合は、裏面を利用してよい。

【解答欄】

〈出題意図〉

家庭科は、小学校・中学校・高校まで必修教科としてある。児童生徒の発達段階を踏まえ、系統的に学びを積み重ねていくことで、生活に必要な技能と知識を身につけることができる。生徒が系統的に学べるためには、教師による授業の工夫が求められる。この認識に立ち、本小論文を作成した。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	選択問題：家庭科教育
対象	家庭科教育サブプログラム

受験番号				

問. 文部科学省は「STEAM 教育（※注）等の各教科等横断的な学習の推進について」を教育政策の一つに掲げている。家庭科教育では STEAM 教育の視点を援用し、どのような学習が実践できそうか、具体例を挙げて説明せよ（例示の中に、学校種、科目についても言及すること）。なお、解答欄が不足する場合は、裏面を利用してよい。

※注： STEAM 教育とは「Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics 等の各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育」のことを指す。

【解答欄】

〈出題意図〉

文部科学省が STEAM 教育を推進する背景には「AI や IoT などの急速な技術の進展により社会が激しく変化し、多様な課題が生じている今日、文系・理系といった枠にとらわれず、各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成が求められている」という考え方がある。そこで、家庭科教育の学習内容を俯瞰しつつ、受験者が STEAM 教育の考え方を生かした学習活動を具体的に構想できる力が備わっているかを見るために、本問を設定した。

令和6年度 東京学芸大学大学院教育学研究科 入学試験

試験区分	一般選抜	○
	現職教員選抜	○
	外国人留学生等選抜	○
	派遣教員選抜	×
	特別選抜	×

科目	選択問題：食生活
対象	家庭科教育サブプログラム

受験番号					

問1 学校における食育を推進するために、2005年4月から栄養教諭制度が開始された。家庭科教育においても食育を一層推進するための学習活動の充実が求められている。家庭科教諭が行う食に関する指導の特色と栄養教諭との連携の在り方について、あなたの考えを述べよ。なお、解答欄が不足する場合は、裏面を利用してよい。

【解答欄】

〈出題意図〉

学校教育活動全体を通じて食育を組織的・計画的に推進することが求められている。食に関する指導においては、栄養教諭との連携も重要である。また、家庭科では、食生活を家庭生活の中で総合的に捉え、生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、課題を解決する力を養い、日常生活において実践できるようにすることを意図している。この認識に立ち、本小論文を出題した。

問2 問1を踏まえ、あなたは児童・生徒に家庭科食生活領域の学習を通してどのような力を育成したいか。学校種を一つ取り上げ、実践したい授業内容と育成したい力について考えを述べよ。なお、解答欄が不足する場合は、裏面を利用してよい。

【解答欄】

〈出題意図〉

食生活領域での学びを理解し、児童・生徒にどのような力を育成したいかを考えて、授業内容を工夫できるのかを確認するために、本小論文を出題した。